

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2016～2017年度スローガン

『 伝えよう！クラブの歴史と文化を 』

第33回（通算1627回）2017年3月21日

◆ ◆ ◆ 本日の例会 ◆ ◆ ◆

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 〈7〉 2月度ニコニコ大賞 小林会員 |
| 〈2〉 ロータリーソング「四つのテスト」 | 〈8〉 メークアップ報告 |
| 〈3〉 ビジター紹介 | 〈9〉 委員会報告 |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈10〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈5〉 出席状況報告 | 〈11〉 閉会点鐘 |
| 〈6〉 今月の皆出席表彰はございません | |

◆ ◆ ◆ 本日の卓話 ◆ ◆ ◆

本日の卓話 「 会員卓話 -35周年記念例会について- 」
渡辺功一会員

次週の例会 〈3/28〉 合同例会の振替例会休会日

次回の例会 〈4/4〉 「パラリンピックについて(仮)」
スポーツジャーナリスト 美齊津二郎氏

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2017年3月14日 第32回(通算1626回)
 開会点鐘 富永会長 27F「スプレnder」
 ＊ビジター紹介 2名 須藤 仁様(地区米山奨学
 委員会委員長/東京麹町 RC)/藤原隆宏様(東
 京神宮 RC)
 ＊ゲスト紹介 1名 ジョン テホさん(卓話者/米
 山奨学生)
 出席 14名 欠席 19名 (免除者 1名)
 出席率 43.75% 補正出席率(2/28) 76.66%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1. 東葛飾ロータリークラブから例会日変更の御案内が来ています。メイキャップする方は御注意ください。
2. 本日の理事会は3/21に延期になりました。時刻は11時で変更ありません。
3. ハイライトよねやまが配信されています。米山奨学会のHPで御覧になれます。

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

須藤 仁様:米山奨学生ジョン テホさん、お世話になりました。

北條会員:誕生日の祝いの花を有難うございました。また皆様のおかげ様で米寿を迎えました。有難うございます。

鈴木会員:IM、JCNN 合同例会お疲れ様でした。

白石会員:溝口さん、入会おめでとうございました。ゴルフ、お酒とおつきあいのほど。ニコニコと。

花形会員:ジョンさん、この先頑張ってください。卓話楽しみにしております。溝口さんようこそロータリーへ。

今週の合計 5件 23,000円
 今年度累計 862,505円

3月
水と衛生月間

◆◆◆ 溝口浩一氏の入会式より ◆◆◆



富永会長より認証状を授与
新入会員の溝口氏



紹介者の富永会長へ白石副会長よりスポンサーバッジの授与

◆◆◆ 3・4月の例会・卓話予定 ◆◆◆

3/21	「会員卓話」 渡辺功一会員
28日	合同例会振り替え例会休会日
4/4	「パラリンピックについて(仮)」 スポーツジャーナリスト 美齊津二郎氏
11日	— 東京城北 RC との合同例会 — 「日米野球見聞録～なぜメジャーは売り上げ1兆円を稼ぎだせるのか」 マスターズスポーツマネジメント 代表取締役 古内義明氏
18日	「演題未定」 近藤一仁氏
25日	特別例会休会日

◆◇◆ 先週の例会より ◆◇◆



3月誕生日のお祝い



地区米山奨学委員会委員長 須藤様より
ご挨拶をいただきました



1年間 ジョンさんのカウンセラーを担当
花形会員の挨拶



須藤委員長、ラッキービジター!!

2017年2月分 青少年交換学生報告

こんにちは。チェコは少しずつ暖かくなり、春の訪れを感じております。
しかし、季節の変わり目は体調を崩しやすいとい
うので、気をつけます。2月の初めの頃に、
ロータリーのダンスパーティーがありました。
社交ダンスも練習しました。また、留学生達で
一緒にラテン系のダンスも踊りました。
昨年知り合った日本語学校の先生が声をか
けて下さり、ワークショップをやりました。子供
たちに習字を教えました。チェコ語で説明する
のは難しかったので、先生に助けて頂きなが
らでしたが、楽しんでくれたのではないと思
います。子供たちの名前をカタカナで書いて
教えてあげると、とても喜んでくれました。
また、友達の家でお寿司を握りました。サーモ
ンを買ひ、久しぶりに生魚を食べました。気
に入ってくれたので、良かったです。3月にはロ
ータリーのスキーウィークがあるので、楽しみ
です。

美和あかり

2月の皆出席

大橋会員/萱森会員/小林会員/佐野会員/
白石会員/榛村会員/鈴木会員/富永会員/
花形会員/古内会員/古川会員/前田会員/
牧野会員/松林会員/渡辺会員

(以上 15名)

※ 誤りがございましたら お申し出下さい。

—事務局からのお知らせとお願い—

* 例会欠席の場合は、前日までに事務局に
ご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 富永 英久 副会長 白石 正

幹事 鈴木 一成 会報委員長 杉本 義孝

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

http://www.tokyocentralpark-rc.com/

2017～2018年度

理事・役員ならびに各委員会編成分担表(案)

会長	白石 正	(役員・理事)	理事	杉本 義孝	(社会奉仕)
副会長	松林 茂	(役員・理事)	理事	萱森 由美	(国際奉仕)
幹事	橋本 国彦	(役員・理事)	理事	古内 亀義	(米山奨学)
SAA	花形 明利	(役員)	理事	小林 力	(プログラム)
会計	榛村 浩一	(役員・理事)	理事	小野 博文	(親睦活動委員長)
副幹事	榛村 浩一	(準役員)	理事	牧野 光洋	(国際奉仕副委員長)
理事	渡辺 功一	(御苑指導委員長・ 研修委員長)	理事	富永 英久	(R情報委員長)
■ クラブ奉仕・例会運営部門リーダー					
	委員会	委員長	副委員長	委員	
	◎クラブ奉仕委員会	松林 茂	原田 英治		
	プログラム委員会	小林 力	大橋 美加		
	会報委員会	阿部 亮介	河東 宗文		
	会員増強・退会防止委員会	深谷 敏哉	古川 英雄		
	R情報委員会	富永 英久	前田 義之		
	会場監督委員会	花形 明利	勝俣 良美	阿部 亮介、梶間 雅子、河東 宗文、中山 亮祐	
	親睦活動委員会	小野 博文	牧 龍一	内尾 武博 後藤 貴之	川松 保夫 安田 順一 勝俣 良美 溝口 浩一
	出席委員会	梶間 雅子	牧野 光洋		
	東京御苑RC指導委員会	渡辺 功一	松林 茂	古内 亀義	牧野 光洋
■ 奉仕活動部門リーダー					
	委員会	委員長	副委員長		
	◎職業奉仕委員会	鈴木 一成	渡辺 功一		
	◎社会奉仕委員会	杉本 義孝	勝俣 良美		
	◎国際奉仕委員会	萱森 由美	牧野 光洋		
	◎青少年奉仕委員会 (青少年交換委員会)	佐野 礼治	榎本 純		
	●米山奨学委員会	古内 亀義	川松 保夫		
	●R財団委員会	中山 亮祐	小野 博文		
地区ロータリー財団/ 地区補助金委員会副委員長・地区財団資金管理委員会委員				松林 茂	
地区日韓友好特別委員会委員				勝俣 良美	
◎クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の五大奉仕 ●R財団委員会・米山奨学委員会は地区協議会出席義務となっております。					

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「私と日本」
米山奨学生 ジョン テホさん

去年(2016年)の11月にもここで卓話をさせていただきました。そのときは「私の研究—コンテンツの力」という題目だったのですが、本日の卓話の内容ともすこしかぶるかもしれません。前回のお話した内容を要約するとつぎのとおりです。

「外国人にとって伝統文化と大衆文化は次の点で違うと思います。伝統文化は外国人には別の世界のもので、あくまでも他人のもので、外国人がそれに好みを抱くときは「憧れ」を感じるようになります。ですが、大衆文化は違います。特にアニメ・ゲームのキャラクターは子供のときから接するでしょう。ただ面白くて、かわいくて好きになります。そのあと振り返ってみるとそれが日本のものであることをわかるようになります。「小さい時から一緒だったその文化の故郷が日本だ。だから私は日本に行きたい」ようになるのです。これが、「コンテンツの力」です。」

本日はそのコンテンツから始まった私自身の物語を申し上げたいと思います。私は1983年生まれで、小・中・高校性のほとんどの時間を1990年代に過ごしました。韓国にとって1990年代は80年代までの民主化闘争・学生運動が終わり、一応表面的には民主主義の国家として一步を踏み出し始めた時期であります。経済的にも復興し、大衆文化がはるかに発展しました。日本の80年代のように、「新世代」が新しい流行を作り出して、韓国は本格的な消費社会に突入しました。

しかしその一方で、国家を中心とする民族主義的な動きも激しかった時期でもあります。慰安婦問題が議論され問題化されたのもこの時期からです。また田麗玉氏が書いた『일본은 없다(悲しい日本人)』(1993)というヘイト本が100万部以上売れるようになったのもこの時期です。

このような雰囲気の中でも、日本のマンガ・アニメ・ゲームは韓国の子供たちに大人気でした。もちろん韓国は1998年まで日本大衆文化が開放されていなかったですが、小説、ゲームなどのコンテンツは楽しむことができました。私の場合、ありがたく1994年(小5)ごろから家でNHK衛星放送を見ることができて、日本のアニメを日本語で観ることもできました。日本語は全然知らなかったですが。

1997年、中学2年生のときからは、もっと日本の大衆文化に興味を持つようになりました。その決定的なきっかけは『新世紀エヴァンゲリオン』というアニメにはまったことです。『新世紀エヴァンゲリオン』は韓国語でアフレコされ、レンタル用ビデオで輸入されていましたが、編集がひどすぎて、正常的に鑑賞することができませんでした。私のはまったのは日本語のオリジナルバージョンを違法でコピーし、ハンゲルの字幕を付けたものでした。クラスメートの中で回しながらみんなで見たりしました。私はその時から日本語に興味ができ、ひらがななど基礎的な日本語を学ぶようになりました。

1990年代の韓国で日本文化を楽しむ人は、少し乱暴ですが、次のような特徴があります。日本の大衆文化を楽しみながらも、日本という国家については批判的。それには日本のものが好きだと言えない社会的な雰囲気がありました。個人的な経験ですが、学校の昼休みの時間で、J-POPをプレイしようとしたが、先輩に断れたこともあります。つまり、当時の韓国では日本が好きだとしても、それを公開的に言えなかったのです。当時の私にとって、日本はよくわからないから知りたくなる憧れの国でした。近くあるけれど、教科書にも詳しく説明されていない国、それが日本です。しかし、なぜか日本には負けたくないという、微妙な感情ももっています。その面では私も典型的な韓国人ですね。

私は日本についてもっとまじめに勉強したくて、ソウル所在の私立大学である中央大学校に入学しました。そこで日本語、日本文学、日本文化について本格的に勉強することができました。

大学1年生だった2003年、初めて日本旅行をしました。その時は日本のすべてが興味津々でした。夏には九州で行われた教会のボランティア活動にも参加し、いろんな思い出も作りました。

兵役の時期に日本語勉強に頑張って、兵役が終わった後、すぐに東京旅行を一週間しました。

私にとって、日本は憧れの国で、いつかは日本に住みたいと思うようになりました。

それで交換留学を目指して、日本語能力試験(JLPT)の1級も取りましたが、交換留学生には、残念ながら選ばれなかったです。

しかし、本格的に日本語の勉強した後には、日本文化全般に興味ができるようになりました。日本は憧れの大衆文化の国でしたが、それだけでなく日本の宗教や政治などにも興味ができ、大学の授業で頑張って勉強しました。ただの憧れの国ではなく、隣の国として、真剣に勉強したのです。

その流れで、2008年には「韓日生命平和歴史紀行」に参加し、在日コリアン問題やキリスト教と世界平和についても積極的に勉強しました。

そのなか、2008年10月、大学の同期からもらった誕生日プレゼントが私の人生を変えました。それは『かのこん』というタイトルのライトノベルです。ある時期、日本の大衆文化からは離れていた私でしたが、それがきっかけでまた日本のコンテンツ文化に興味を持つことになりました。

でもそれは、以前のような憧れではなく、日本の大衆文化を文化論的・社会論的に分析したいという、学問的な関心に近かったです。

その結果、卒業の後には同大学の大学院に進学し、日本大衆文化について研究を始めました。もちろん、その流れは日本留学まで決心させ、東京大学大学院まで行って研究し、今回修士論文を提出しました。

最近2年間は日本文化を楽しみながらも、自分の研究に没入した時期であります。その間、私にとってはかけがえのないプレゼントをいただきました。それはロータリーの米山奨学生として選ばれたことです。今まで自分が日本に興味があったとしても、それは自分の研究に関してだけだった

です。研究者として生きること自体がそうなのです。ほかの奨学生度は、奨学金をもらったとしても、一回ぐらいしか行事に参加しません。

ところが、ロータリーの奨学生制度は全然違いました。いろんな留学生や素晴らしい方々との出会いがありました。毎月の例会はもちろん、ボーリング大会、ボランティアに参加などいろんな行事を通して、いろんな方々と楽しい思い出を作ることができ、ものすごく楽しかったです。この1年間の大切な時間を一生忘れないでしょう。

私は今回東京大学大学院の修士課程を修了し、名古屋大学で新しい研究に取り組もうとしています。そこで今よりもっと頑張って研究して、日本と韓国の間をつなぐ架け橋になりたいと思います。

1年間私を支えてくださった東京セントラルパークRCのみなさまに、特にカウンセラーの花形さんに感謝の思いを込めて申し上げます。

ありがとうございました！